

# 国際仲裁セミナー 「国際取引紛争解決手段としてのADRの利用 ～国際仲裁・国際調停を身近なものに～」



主催：日本弁護士連合会 共催：京都弁護士会

後援：経済産業省近畿経済産業局，財務省近畿財務局，日本政策金融公庫，京都商工会議所  
日本貿易振興機構（ジェトロ）京都，公益社団法人日本仲裁人協会

国境を超えた取引や海外投資が年々増加するに伴い、企業が法的紛争に巻き込まれるリスクも増加します。

しかし国際紛争では、どの解決機関を利用すべきか、どこを仲裁地・調停地とすべきか、仲裁人・調停人はどう選んだらよいか、執行は可能なのか等、国内事案とは異なる複雑な問題が絡んできます。加えて、費用がどれだけ必要か、適切な代理人をどう探すべきか等、企業にとって疑問は尽きません。

活発に国際営業活動をするためには、予め、国際紛争解決手段の基本的な知識と最新情報を得ておくことが、中小企業も含めた企業経営者・担当者にとって不可欠といえるでしょう。

また、弁護士にとっても、国際紛争に関する予防法務的助言や、顧問先が国際紛争に巻き込まれた場合の緊急対処を求められる場面が増えていくことでしょう。

本セミナーでは、国際ADRに関する専門家・実務家が、国際ADRの基礎から最前線まで、重要論点を網羅的に解説します。昨年11月に開所した京都国際調停センターについてもご案内いたします。国際取引に関わる企業、支援者の皆様のご参加をお待ちしています。

日時：2019年3月26日（火）13時30分～17時00分  
場所：京都弁護士会会館・地階大ホール

参加対象：弁護士、企業、  
中小企業関連団体・機関  
など、どなたでもご参加  
いただけます。参加無料。

## プログラム

- 開会挨拶 鈴木五十三（弁護士、日弁連仲裁WG座長）  
浅野則明（京都弁護士会会長）
- 基調講演 講師：早川吉尚（弁護士、立教大学教授）  
武藤佳昭（弁護士、日弁連中小企業海外展開支援WG座長）
- パネルディスカッション 国際ADRの活用  
モデレーター：早川吉尚  
パネリスト：廣田浩（京セラ株式会社法務部長）  
鈴木五十三（弁護士、日弁連仲裁WG座長）  
岡田春夫（弁護士、京都国際調停センター長、日本仲裁人協会常務理事  
日弁連仲裁WG委員）  
武藤佳昭（弁護士、日弁連中小企業海外展開支援WG座長）  
早川吉尚（弁護士、立教大学教授）
- 閉会挨拶 古家野彰平（京都弁護士会副会長）

参加をご希望の方は、FAXまたはメールでお申し込みください。  
（メールで申込みの際には、以下事項をメールに記載ください。）

F A X：03-3580-9840 メール：International@nichibenren.or.jp

定員：100名

※申込みが定員に達した場合には受付を締め切らせていただきます。

【お問合わせ】日本弁護士連合会国際課 電話03-3580-9741（直）

御名前		ご所属	
登録番号 (弁護士会員のみのみ)		メールアドレス	

### 【個人情報の取扱いについて】

ご提供いただいた個人情報は、日本弁護士連合会のプライバシーポリシーに従い厳重に管理いたします。また、この個人情報に基づき、日本弁護士連合会もしくは日本弁護士連合会が委託した第三者より、シンポジウム等のイベントの開催案内、書籍のご案内その他当連合会が有益であると判断する情報をご案内させていただくことがあります。なお、個人情報は、統計的に処理・分析し、その結果を個人が特定されないような状態で公表することがあります。また、本票記載の個人情報を参加申込の管理業務のため、日本弁護士連合会から共催団体である京都弁護士会に提供します。以上について同意をいただいた上で申し込みください。